もりんぴあタイムズ

第 32 号
2022 年 5 月 31 日発行

11 年経っても、あの日のことを決して忘れない！

3 月 1 日(火)から 13 日(日)まで、「集い、つながろう！！復興支援 week. 2022」が開催されました。この復興支援 week は実行委員の椎名修さん発案のもと、東日本大震災の経験・教訓を広く共有し、風化させないことを目的に企画され、6 回目を数えました。また近年では、地震以外の自然災害も多発しており、地域防災啓発も組み込まれるようになりました。
2 階ギャラリーMORI×MORI では、「支援活動・防災情報展示」として、岩手県の河川国道事務所の報告パネルの展示や成田市から南相馬市・浪江町へ派遣されている職員の報告、成田赤十字病院の支援活動報告の他、NTT ドコモの災害時携帯利用方法の展示などが行われ、たくさんの方に見て頂きました。震災を知らないであろう子どもたちが展示に目をむけている真剣な姿が見られ、とても喜ばしくなりました。
3 月 5 日には 2 階 MORI×MORI ホールにて、「杜の音楽祭」が開催され、10 時 30 分から 17 時まで小中学生を中心にのべ 180 名の演奏者が演奏を行い、音楽で復興を願いました。
実行委員の田中恵美子さんを筆頭に 7 名の委員で音楽祭をサポートして頂き、ピアノの消毒や観客席の消毒、飛沫防止シートの設置撤収など、コロナ対策も万全を期して行われました。

翌 3 月 6 日の第 1 部で「光のとびら」が行われ、オープニングセレモニーでは、椎名修実行委員の挨拶ののち小泉市長からお言葉を頂きました。その後、『ベルボトムズ』、『武藤奈々子 With えにし』の心に響く音楽が奏でられました。第 2 部「杜の音楽祭」とし、この日は大人の演奏者 35 名がホールに美しい音色を響かせました。

復興支援 week の期間中に集まった募金は合計 199,931 円で、こちらは「いわて学び希望基金」に寄付致しました。

杜の少年少女合唱団が始動！！

成田市 杜の少年少女合唱団は、芸術としての合唱音楽を学ぶことを通して、子どもたちに『歌うこと』『表現すること』『創造すること』の楽しさを学び、豊かな心に育って欲しいという理念のもと企画されました。
講師にコンクールでの入賞経験のある方を迎え、本格的な指導を受けることができます。
杜の少年少女合唱団では、歌の上手下手ではなく、お子さんの歌いたい気持ちに寄り添います。お子さんなりに歌詞を解釈し、歌詞の情景を思いうかべて発せられたメロディーは、想像力が養われた証拠となります。
音程だけでなく、リズムを伴奏・他の団員とあわせることも重要となってきますが、お互いの意識を感じながら、協力しあってハーモニーを築くことは、子どもたちにとってかけがえのない財産になることと思います。
4 月 16 日(土)および 5 月 7 日(土)には、体験会が行われ、4 月は 7 名、5 月は 9 名の方が参加し、講師紹介ののち、参加者の自己紹介、体操を行い、声出し・音程の確認へとすすんでいきました。

参加者の多くは、講師の方とどこかで触れ合っているようで、すぐに打ち解けて楽しそうに活動していました。6 月からは月 2 回のペースで本格的な活動を開始し、人前での発表を目指して練習していきます。

沢山の鯉のぼりが吹き抜けを泳ぐ

今年度も「こいのぼりぬり絵コンテスト」を開催致しました。278 点の応募作品の中から、最優秀賞に輝いたのがこちらの作品。選考のポイントは年齢に応じた塗りの丁寧さ、配色バランスなどがあり、コミュニティセンタースタッフの総投票で一番票の集まった作品に決まりました。
4 月 29 日(金)には表彰式が行われ、入賞された方々には記念品と賞状が渡されました。

屋上庭園や駐車場を華やかに！

春を迎え、過ごしやすくなってきた 4 月・5 月。屋上庭園と駐車場の花壇では、ボランティアの方々により手入れが行われ、草取りや花柄摘みの後、種まきが行われました。
『みどりを育てる』(グリーンボランティア)は、子どもたちや地域の方が主になって花や野菜を育て、その活動を経て命の大切さ、作物を作る苦労や喜びを体験してもらう事が目的となっています。花を育てたいけど、マンション住まいでなかなか難しいという方やガーデニング好きの方等がいらっしゃいます。毎月の参加ではなく、来られる日だけの方も大歓迎です。

図書館だより

季節や行事にぴったりの本を展示

図書館では、1 か月ごとに紹介する本のテーマを決めて展示を行っています。
4 月は、新しい出会いが増える季節にぴったりの「話し方・伝え方」を展示しました。また、小学 1 年生におすすめの本を紹介する「ばんざいいちねんせい」、中学 1 年生におすすめの本を紹介する「2022 年春の一冊」の展示も行いました。たくさんの子どもたちや保護者の方々が、展示コーナーで本を手に取ってくれました。

そのほかにも、季節や行事に合わせたミニ展示を行っています。4 月は「ノート術」、「ツバメや身近な小鳥たち」、「こどもの日」などを展示していました。
図書館にお越しの際は、ぜひ展示にも注目してみてください。普段は手に取らない本や、日常生活に役立つ情報に出会えるかもしれません。

年中様々な芸術作品を楽しめる

2 階ギャラリーMORI×MORI では、ご利用者様の利用がない期間、公津の杜コミュニティセンター主催で様々な作品展示を行っています。
『春の芸術祭』は、アート作品をより身近に感じて欲しいというコンセプトで開かれ、絵画・書道・写真・手工芸などジャンルにとらわれず作品を一般の方々から募集して展示し 4 月 1 日から 17 日まで来場者の感性を刺激しました。

『青い麦の子作品展』は、日々の作品制作にがんばっている障がいのある方たちの力作を多くの方に鑑賞してもらいたいという願いで開催しています。4 月 19 日から 5 月 1 日までは、「かしの木園」の利用者の作品を展示しました。
『若い芽の作品展』は、地域の若手作家にスポットをあて、若手作家と地域の方々の架け橋となる展示です。5 月 25 日からは窪田一登さんのやさしい印象の絵画が展示されています。

なかよしひろばだより

毎月おたんじょうび会を開催しています

毎月おたんじょうびを迎えるこどもたちをお祝いしています。前半はお誕生日カードを一人ずつ渡してお祝い。大きなスクリーンにお子さんの写真を映しながら、ママパパからのメッセージを伝えています。また、お子さんと歩んできたママパパにむけて『あなたのことがだいすき』という絵本をグランドピアノの調べにのせて朗読しています。生まれた日から今までのことを思いだし、涙する方もいます。
後半はスタッフによるお楽しみタイム。わらべうたや親子で体を動かして遊んだり、パネルシアターや大型絵本などを楽しんだりしています。
会の終了後はスタッフ手作りのフォトスポットやスクリーンに映った我が子の写真の前で記念撮影。家族やお友だち同士で撮影しています。
「1 年に 1 度の嬉しい日を皆でお祝いできて良かったです」と喜んでもらえているようです。

おまけの１枚

4 月より毎週日曜日に授産施設「かしの木園」による野菜やお弁当の販売を開始しました。これにより月曜日以外（水曜は隔週）は、食品の販売があります。現在、コロナの制限で館内共有スペースでのお食事はできませんが、ぜひご賞味ください。

編　集　後　記

先日、友人が練習用のエレキギターが欲しいということで、リサイクルショップに同行しました。店内を見ること 5 分。『これが気になる。これにする。』と試奏もせずに購入しました。ネックの持った感じなどあるはずなのに、その決断力に驚くばかりでした。そんな決断力と財力が欲しい！　（K）

4 月より新館長としてお世話になっています「竹尾」と申します。以前大変お世話になった方、久々にお会いし懐かしい方、そして新たに知り合った方等、多くの方々との出会いを今後とも大切にしていき、利用者の方に夢を与えることができるコミュニティセンターを運営できるよう頑張っていきます。（竹）

公津の杜コミュニティセンター
（指定管理者　アクティオ株式会社）
発行人：竹尾 裕之　　編集：鹿嶋 聡明
〒286-0048　千葉県成田市公津の杜４丁目８番地
TEL：0476－27－5252　　FAX：0476－27－5353
E-mail：info-kozu@morinpiakozu.jp　　HP：http://morinpiakozu.jp/

もりんぴあこうづ
MorinpiaKozu